



年頭のごあいさつ

会長 加藤 宣明

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

この地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況下で持ち直しの動きがみられますが、同感染症の感染拡大は収まらず、しばらくは先行き不透明な状況が続くことが見込まれますので、同感染症の一日も早い収束を願うばかりです。

さて、去年はコロナ禍によって、新しい生活様式や業務形態、働き方などが実践され、社会が大きく変化する年となりました。各企業や団体におかれましては、これまでに経験したことがない状況下で、経営・生産活動の手法を模索しながら、事業を進めてこられたと思います。

こうした未曾有の災禍が続く中で、嬉しいニュースがありました。それは、昨年11月に愛知県で開催された第58回技能五輪全国大会における愛知県選手団の活躍です。残念ながら無観客での開催となりましたが、この大会で本県選手団は、17名の金賞を含む91名が入賞し、16年連続で最優秀技能選手団賞を受賞しました。また、同時に開催された第40回全国アビリンピックでは、3年連続メダル獲得数全国1位という輝かしい成績を収めることができました。

当協会としましては、この追い風を生かし、今後ますます少子高齢化が進む中で重要課題となる若年技能者の育成や熟練技能の次代への継承を継続的に支援するとともに、技能の素晴らしさ、大切さを広め、若者が進んで技能者を目指す土壌づくりに引き続き励んでまいります。

めまぐるしく変化する社会において、時代の流れを読み取り、新たな付加価値を生み出すことができる人材の育成は、企業にとってより一層重要となってきます。

基幹事業である技能検定試験の実施にあたっては、厚生労働省の感染症対策のガイドラインを踏まえ、関係機関と連携をとりながら適切かつ円滑に実施し、また、企業の人材育成を支援する取組においては、高度なものづくり技能を有する人材や若手技能者を指導する人材の育成支援、さらには、加速するデジタル社会の中で求められるスキルの向上支援など、本年も社会や企業のニーズに即した取組を着実に実施してまいります。

皆様には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、関係者の皆様のさらなるご活躍、ご発展を心から祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。